

自殺防止のための鉄道会社支援事業【埼玉県】

(実施主体) 埼玉県

(基金事業メニュー) 強化モデル事業

(実施期間) 平成 22 年度～24 年度

(実績額) 平成 23 年度 6,567 千円

〔事業の背景・必要性・目的〕

鉄道による自殺は運行の停止など社会的な影響も大きく、少しでも減らす力になればと考えていたところ、JR西日本大阪支社が阪和線と関西線の32踏切に青色発光ダイオード(LED)の照明灯器具を設置したところ死亡事故がゼロとなったという記事を読み、本県においても平成22年度から実施している。

〔事業の内容〕

この事業は、鉄道事業者が実施する安全対策のうち、自殺防止に効果があると考えられる事業に対し、補助を行っている。

補助対象事業は、①青色照明等の自殺防止に効果があると判断される機器の設置、②駅や踏切等における巡回活動、③看板の設置やポスターの掲示、④その他、県が自殺防止に資すると判断する事業である。

補助事業者は県内に営業路線をもつ、東武鉄道株式会社、西武鉄道株式会社、秩父鉄道株式会社の3社で、1社あたりの補助額は3,000千円(平成23年度:2,500千円)とした。

〔22年度の実績〕

①東武鉄道

- ・自殺予防週間に東武伊勢崎線大袋駅等で青色LED照明を設置。
- ・12月に自殺予防に係る相談窓口を記載したポスターの制作・掲出を東武線の県内全駅で実施。
- ・大宮、新越谷、朝霞台、川越の各駅で非常停止ボタンを模したストラップを配布するなどの普及啓発活動を実施。

②秩父鉄道

- ・自殺が発生した場所での線路柵や相談窓口の連絡先を記載した看板の設置。

③西武鉄道

- ・3月に普及啓発物品の制作・配布(配布は震災のため中止)。

〔23年度の実績〕

①東武鉄道

- ・自殺対策強化月間に自殺予防に係る相談窓口を記載したポスターの制作・掲出を東武線の県内全駅で実施。
- ・普及啓発物品を制作し、大宮、せんげん台、朝霞台、川越の各駅で配布するなどの普及啓発活動を実施。

②秩父鉄道

社会的な取組で自殺を防ぐ

- ・自殺が発生した場所での線路柵や相談窓口の連絡先を記載した看板の設置。
- ・自殺対策強化月間に熊谷駅で普及啓発物品を配布する街頭啓発を実施した。

③西武鉄道

- ・普及啓発物品を制作し、自殺予防週間及び自殺対策強化月間に所沢、本川越、狭山市、飯能、入間市、西武秩父の各駅で普及啓発活動を実施。

【事業の成果、工夫をした点、その他特筆すべき点】

1 事業の成果

駅のホームや線路内での自殺者が減少した。(平成 21 年:78 人、平成 22 年:70 人、平成 23 年:60 人)

2 工夫をした点

鉄道事業者が普及啓発物品を配布する際に県が制作した自殺予防のための広報カードを封入してもらうこととした。23 年度の自殺予防週間中は 5 駅で 5,000 枚、自殺対策強化月間中には 11 駅で 11,000 枚のカードを配布し、多くの県民に相談窓口の周知を図ることができた。

また、普及啓発活動の実施にあたり各鉄道事業者から協力要請があったため、地元の市町村や保健所に参加を依頼した。これにより鉄道事業者と地元市町村との交流につながった。

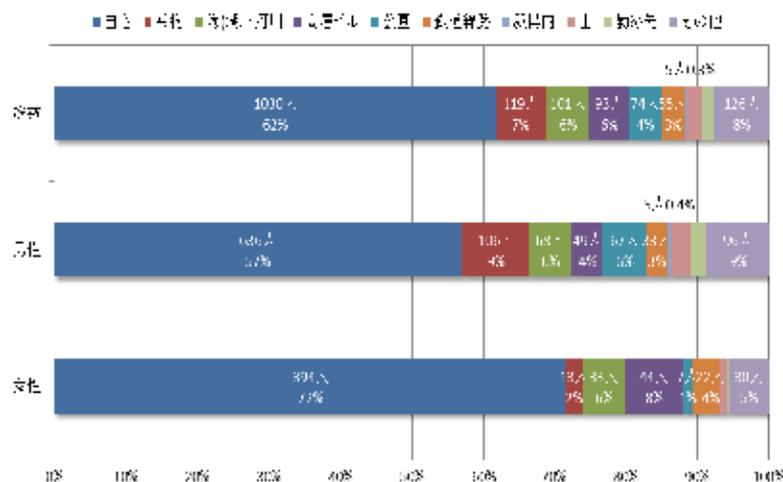
3 その他

当初は青色 LED 照明の設置促進を期待したが、青色 LED 照明が自殺を減少させるといった効果が科学的に実証されていないこともあり、鉄道事業者からの希望は少なかった。

しかし、公共交通機関の主要駅で普及啓発活動を行うことにより、多くの県民に相談窓口や自殺予防のための行動等を周知することができた。



青色 LED 照明



平成 23 年自殺の場所別自殺者数の構成 (埼玉県)

出典: 埼玉県警察統計 (確定値)

社会的な取組で自殺を防ぐ

(問合せ先) 埼玉県保健医療部疾病対策課

TEL:048-830-3565

E-mail:a3590@pref.saitama.lg.jp